

留学報告書 II (2023 年度留学生)

| | |
|---------------|-------------------------|
| 塾内在籍校・学年(派遣時) | 慶應義塾湘南藤沢高等部 5 年 |
| 留学先校名 | Winchester College |
| 留学期間 | 2023 年9 月から 2024 年7 月まで |

留学を振り返って

留学先では、期待どおりの生活を過ごせましたか？（留学先の良かった点・悪かった点も教えてください。）

Winchesterでの生活は全くもって“予想通り”の生活ではありませんでしたが、留学中のどの 1 日をとっても遙かに期待を上回る毎日でした。Winchesterにいるからこそ経験できる **Chance** を自分から掴み取ることも勿論 **crucial** ですが、そもそもWinchesterが用意してくれている(自分に差し出してくれている)**Chance**の場が多くありました。学校がホストしてくれる**day trip**だったり、他の学校との交流パーティーだったり、様々な素晴らしい**opportunity**が日常的に落ちています。このような機会を**Max**まで有効活用できたのは、留学生活の中で一番の成功だったと感じています。From my experience, every of these small“背伸び s” that I made, blessed me with an unexpected outcome whether good or bad, but was always accompanied with a big smile of satisfaction and joy to my face. そこまで興味がなくても、新しい**chance**があるなら飛びついてみようという**mindset**は、Winchesterでの経験を最大限まで引き上げてくれたように感じます。時には **Irish dancing**の授業に参加したり、**F1**の**Engineering Program**に参加したり、このような小さな挑戦を続けたことは何より自分の**confidence**に**contribute**したと考えています。自信がつけばまた次の挑戦ができ、更には自分から**chance**を作って自分だけの挑戦につなげることができます。僕にとってWinchesterでの剣道の発表は、会場を抑えるところから、見に来てもらう観客を呼び込むところなど、自分で自分のための**chance**を作った結果生まれたものでした。最終的には、学校の校長先生夫妻を含め、**80**人超の観客を呼び込み、学校の一番大きい講演ホールで僕の大好きな剣道を紹介することができました。この経験は後のWinchesterでの生活をより一層**flourish**してくれ、その後行われた校長先生による柔道の発表の実現にも繋がったと思っています。

悪かった点は本当はないと言っても過言ではないのですが、上げるとしたら一学期の序盤はやはり **language barrier**に**struggle**しましたが、先生に聞くことを恐れないことが大事です。日本と違ってイギリスはクラスが少人数なので、**individual**ごとのサポートは全員がやっていることで、自分はそれが言語なだけ、と受け止めて、恥ずかしがらずに聞いた方がお得です。

クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

Winchesterでは一学期ごとにメインスポーツを選びました。一学期、自分は友達と**interact**する機会を増やすという意味でも、沢山のスポーツに挑戦しました。毎週行われる**11**のハウス同士の**football competition**の他にもバスケットボール、**squash**、**football training** などに参加し、最終的には**football**とバスケに専念しました。二学期は、Winchester特有のスポーツである **Winchester football(Winkies)**に明け暮れる日々でした。**Winchester football**はサッカー、ラグビー、アメフトの融合のようなスポーツで、学校の中ではとても重要なスポーツです。個人的にサッカーはあまり得意ではなかったのですが、**Winkies**は他の要素も絡んでくるので、**football**に比べたら、チームに貢献することができました。**Winkies**はとても楽しく、**Winchester Colelge**内のスポーツであることが勿体無いとすごく思っています。三学期は陸上をメインで行なっていました。クリ

ケットにも興味があったので何度か練習に参加したのですが、陸上で100m走の選手になったので、陸上に専念することになりました。Winchesterは陸上がとても強く、毎週行われる学校同士のトーナメントで今季は全勝でした。元Olympianのコーチとも非常にいい関係を築くことができ、剣道の話などとても熱心に聞いてくれました。

学業について

各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。

まず慶應義塾での授業と決定的に異なるのはクラスの規模です。自分はWinchesterでMath's, Further math's, physics, chemistryの四教科を選択していたのですが、クラスの人数は多くても10人程度、一番少ないと6人程で授業をすることもありました。クラスが小さい分、わからないところがあってもすぐにcatch upできますし、競争心も上がります。課題については毎日2時間弱の宿題が出されるのですが、toytimeという宿題をする専用の時間で課題に取り組みます。試験は一学期に一度と三学期に一度の計二回しかないので、授業態度、宿題のqualityなどが中間成績には大きく反映されます。各教科の授業範囲は下記です。

Winchesterでは学校内のテストの他にも、externalなexamsを受けるチャンスが数多くあります。自分はBritish Senior Math's Challengeで金賞、Chemistry Olympiadで銀賞、Cambridge Chemistry Challengeで銀賞などの賞を受け取ることができました。

また、週に3回、Winchester特有のDivという授業があります。Divには決まったsyllabusがあるわけではないので、毎週末に1000wordほどのエッセイが出されることその他には先生によって扱う内容が異なります。一年間日本について勉強しているセットがあったり、本当に先生の趣味によってdiverseなtopicが扱われます。僕のセットのtopicは、一学期: Games、二学期: Fairy tales、三学期: Unflatteningでした。個人的に一番好きだったのは二学期のFairy talesで、Fairy talesに共通するプロットを見つけることから自分でFairy talesを作るところまで発展することができました。

今後について

この派遣留学を通して、自分自身にどのような変化があったと感じていますか。

Winchesterという留学前の自分では想像も付かないような環境で一年間過ごし、何より一年間最高に楽しめたという経験は自分のconfidence levelを大いに引き上げてくれました。毎日の生活のなかでしていた小さな挑戦、小さな背伸びの一つ一つが今の自分の背中を押してくれている気がします。場所は変われど、新しいことに挑戦して自分の経験値を上げることを大切に生きていきたいです。また、新しい挑戦をすることはconfidence boostの他にも、自分をより興味深い人間になることを助けてくれます。学校に入って間もないころ、"Be the person with the most stories in a dinner table"とあるスピーチの中で聞いたことを思い出します。あのスピーチも自分から応募して聞きにいったものですが、一年間自分の道標になってくれた言葉でした。当たり前のことといえば当たり前ですが、自分のchallenge spiritを支えてくれたことには間違いありません。最後に、Winchesterで作った友達との絆は6歳の頃から知っている日本人の友達との絆と遜色ないほど硬く、conversationの深さだけで言ったらWinchesterでの友達とのconversationの方が深かったように感じます。既に今夏日本に遊びにきてくれる友達がいたり、世界中で頼れる仲間がいることは心強く、一生なくなることはない最高の宝を得ることができました。また、悪い意味で言うとおしゃべり、良い意味で言うところ議論が好きになったように感じます。Winchesterのdining tableの会話は非常に興味深く、そのconversationに混じり合えたことはとても良い経験だったと思っています。一番記憶に残っているのは人間の頭はずっと動いているのだから、会話が止まって気まずくな

ることなんてないだろう”と言う会話で、この時自分は“止まる”と言う立場で議論していたのですが、今思うと“止まるわけないだろう”と意見に完全にスイッチしました。このような食卓での議論は授業が終わって夜まで続くことも多く、自分だけの意見を持つことの価値を学びました。例え誰かと意見が一致しても、どこか異なるところを見つけ、また新しい会話に繋げる、ということもあるほど、自分の意見のUniqueさが会話にもたらす楽しさを学ぶことができました。

今後の派遣留学生へのアドバイス

自分もそうだったように、Winchesterに実際ついたら想像より遥かに広い世界が広がっているはずです。僕のWinchesterでの一年はあっという間でした。Day 1 から最高出力で数多くのopportunityに手を伸ばしてきたつもりですが、それでも時間が足りなかった、というのが僕の素直な感想です。せっかくある沢山のチャンスを無駄にせず、興味がなくても、自信がなくても、とりあえずsign upしてみてください。絶対に後悔しないはずです。バスケをしていれば2m 越えの選手がいたり、勉強をしていればイギリスTOP20のChemistがいたり、やらない理由は沢山ありますが、自分みたいな人も実は沢山います。広い世界に飲み込まれず、Challenge精神を忘れず頑張ってください！応援しています！And always, “Manners maketh man”!

